

令和2年

雲南市議会 12月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和2年12月10日～12月14日】

令和2年雲南市議会12月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	12/10(木) 10時00分～	13／原 祐二	一問一答	1～2	11		8／上代 和美	一問一答	14～16
2		1／多賀 法華	一括	2～3	12		2／安田 栄太	一括	16～17
3	12/10(木) 13時00分～	18／矢壁 正弘	一問一答	3～5	13	12/14(月) 10時00分～	9／足立 昭二	一問一答	17～19
4		4／上代 純子	一括	5～6	14		11／松林 孝之	一問一答	19～20
5		12/14(月) 13時00分～	3／児玉 幸久	一括	6～8	15	12／中村 辰眞	一問一答	20～22
6			10／中林 孝	一問一答	8～10	16	15／周藤 正志	一問一答	22～22
7	12/11(金) 10時00分～	6／梶谷 佳平	一問一答	10～11					
8		5／鶴原 能也	一問一答	11～12					
9	12/11(金) 13時00分～	7／宇都宮 晃	一括	12～12					
10		14／白築 俊幸	一問一答	12～14					

令和2年雲南市議会 12月定例会 一般質問通告一覧表

令和2年12月10日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	13	原 祐 二 (一問一答)	1. まちづくり6つ の視点について	<p>(1) 今と未来を大切にする視点について 「今を頑張る人たちへの思いに応えていく必要」、「地元への愛着や魅力を感じてもらえるような学びの場を確保する」新しい風(具体策)は何かを問う。</p> <p>(2) いのちとくらしを大切にする視点について 「防災・減災対策の実施や自主防災組織の活動の充実により防災力を強化する」、「医療と福祉の連携を一層進める」新しい風(具体策)は何かを問う。</p> <p>(3) パパやママの思いを大切にする視点について 「妊娠、出産、子育てに至るまでの切れ目のない支援や質の高い教育環境」、「若い世代のニーズにマッチした住みやすい環境を整える」新しい風(具体策)は何かを問う。</p> <p>(4) 地域の宝を大切にする視点について 「地域の宝を民間の活力も活かしながら」新しい風(具体策)は何かを問う。</p> <p>(5) コウノトリに愛される環境を大切にする視点について 「素晴らしい環境を市民の皆様と守る」新しい風(具体策)は何かを問う。</p> <p>(6) 川の流れが結ぶまちを大切にする視点について 「松江市・出雲市との関わりを重視する」新しい風(具体策)は何かを問う。</p> <p>(7) 6つの視点を重視したまちづくりは、財政力が脆弱な本市にお</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市民の政治参画 について	<p>いて実現可能なのか、市民が変化を感じる「新しい風」に向けた新たな大型プロジェクトは必要ないのかを問う。</p> <p>(8) 政策決定のための新しい風(手法)について市長の所見を問う。</p> <p>(9) 市民が求める困り事や心配事に対しての優先順位、新年度への予算配分について市長の所見と決意を問う。</p> <p>(1) 市議会議員選挙(投票率)における、市民の政治参画についての所見と反省点を問う。</p> <p>(2) 市民の政治参画に向けた、今後の取り組みについて問う。</p>	
2	1	多 賀 法 華 (一 括)	<p>1. 第2次雲南市男女共同参画計画について</p> <p>2. ハラスメントについて</p> <p>3. 市民と行政の協働のまちづくりについて</p>	<p>(1) 第2次雲南市男女共同参画計画の目標の達成度について、「家庭生活」「政治」「社会通年・慣習・しきたり」の面で男性の方が非常に優遇されているという割合が、質問内容の違いがあることも理由かもしれないが、平成25年の調査より増えている。また、社会全体における男女の平等感は、平成30年度の調査で、目標値が50.0%に対し、17.9%と低い。平成25年の調査で16.8%とあり、具体的施策を見直す必要があると思うが、見解を伺う。</p> <p>(1) 地域と行政の今後のあり方の報告書の⑱苦情処理機関の「対策」に、地域自主組織役職職員へのハラスメント研修の必修化がある。地域自主組織のハラスメントについて声を聞いている。今、ハラスメント研修を行っていると聞いているが、現状と効果について問う。</p> <p>(1) 市政懇談会の参加人数が減っていると聞く。また、意見を言いくいという話しも聞いている。例えば、同じ年代の行政職員と市民がざっくばらんに語れる場や人数を少なく開催するなどの工夫を検討されているのか問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 学校教育について</p> <p>5. 地域包括ケアシステムについて</p>	<p>(2) 今年度はコロナの影響で市政懇談会が出来ず、雲南夢ネットやYouTube で市政の取り組みを4回シリーズで7月から8月にかけて情報発信されたようだが、その反響や意見はどうであったか問う。</p> <p>(3) 今、SNS アプリでLINE を使っている方が一番多い。LINE を使った情報発信について検討はされているのか問う。</p> <p>(1) キャリア教育を受けた年代の子どもたちで高校生になってからの進路への影響や実際に就く仕事にどんな影響を与えたのかなど、その効果をどのように検証されているか問う。</p> <p>(2) G I G Aスクールについて、現在の状況と教える人材の確保、保護者への説明、連携について問う。</p> <p>(1) 地域包括ケアシステムの中で、生活支援コーディネーターは、非常に重要な役割を担っている。平成30年度から令和2年度まで第一層の生活支援コーディネーターは雲南市では3人の配置となっているが、これまでの取り組み、現在までの効果について問う。</p>	
3	18	矢 壁 正 弘 (一問一答)	<p>1. 市長の市政運営の考え方について</p> <p>2. 農業対策について</p>	<p>(1) 市が抱える多くの課題のどこに最重点を置いて市政運営を進められるのか問う。</p> <p>(2) 市長は公約の中で大型事業の見直しを掲げられている。どのような見直しを考えられているのか問う。</p> <p>(3) コロナ禍の中、第3波が到来し全国的に経済が低迷している。どのような市政運営を考えられているのか問う。</p> <p>(4) 周辺地域の人口減少に伴う過疎対策についての考えを問う。</p> <p>(1) 2020年農林業センサスでの全国統計では「基幹的農業従事者」は前回の調査から39万6000人減少したとの結果だった。市内においての減少はどの程度あったのか。また、減少したことによる影響</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 鳥獣害対策について	<p>はどうだったのか伺う。</p> <p>(2) 農業経営体のうち、個人経営体は前回から 22%減少しているが、団体経営体は増えている。法人経営体の増加が貢献しているようだが、市内の傾向はどのように推移しているのか伺う。</p> <p>(3) 全国的に農地の減少が止まらないようだ。比較的利用しやすい農地の引き受け手はいるが、担い手不足のため農地の荒廃化が進んでいる。市における農地の減少率はどの程度なのか。また、市独自の対策を考える必要があると思われるが見解を伺う。</p> <p>(4) 貴重な農業の担い手となりうる農業生産法人が作業場等として市の遊休施設を借りる場合、賃借料の減額など支援措置はできないか。</p> <p>(1) 今年もイノシシによる農作物への被害が拡大している。昨年に引き続きの暖冬であったため頭数が予想以上に倍増していると思われる。抜本的な駆除対策が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>(2) コウノトリ保護によるサギへの駆除が見合わされている。農業関係者からも漁業関係者からも被害の声を聞いている。コウノトリの保護を一番に考えるのはもちろんだが、猟友会と対策を講じながら駆除の再開はできないのか見解を伺う。</p> <p>(3) 地元、阿用地区で鹿が捕獲された。他地域でも鹿による林業被害が発生していると聞くが、市内での頭数確認など被害が少ないうちに対策を取る必要があると思われるが見解を伺う。</p> <p>(4) 地元の民家近くで熊が出没した形跡が発見された。阿用小学校にも近い場所なので児童と遭遇しないかと危惧している。告知放送で警戒を呼びかけられているが、その他対策は取られているのか伺</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 縁結び対策について	<p>う。</p> <p>(1) 国が新婚夫婦の住宅取得費用等を補助する「結婚新生活支援事業(結婚助成金)」がある。補助金をもらえるのは、この事業を実施している地域に住み、新たに婚姻届けを提出した夫婦に限られる。市はこの事業を実施していないが何故なのか見解を伺う。</p> <p>(2) 内閣府は、この事業を2021年度から現行の上限30万円から60万円に引き上げるとしている。縁結び対策や少子化対策のためにも是非実施すべきと考えるが見解を伺う。</p>	
4	4	上代純子 (一括)	<p>1. 医療、介護従事者の処遇について</p> <p>2. コロナ禍の支援策について</p>	<p>(1) 2025年問題といわれる中、医療、介護従事者の方の処遇改善策をどのようにお考えかお聞きする。</p> <p>① 身体的な支援として、リフト、自動の見守りロボット等の導入の実績及び状況を伺う。</p> <p>② 今後、設備投資への支援策はどのような考えか。</p> <p>③ 精神的な支援として、従事者の心のケア相談窓口の現状と相談件数、相談内容を伺う。</p> <p>④ 少子高齢化が進む中、医療、介護現場では、今後若者の人材不足が懸念される。また、24時間交代制等の激務により、既存の医療、介護施設で今後も雇用の維持が継続されていくのか不安を感じる。雇用の維持継続について対策を講じる必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>(1) 出口が見えないコロナ禍の中で地元企業が事業を継続するための新たな支援対策は検討されているのか伺う。</p> <p>① 松江市では、国の持続化給付金に加え、松江市独自の給付金を支給している。雲南市においても、独自の給付金を支給する考えは</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>あるのか伺う。</p> <p>② 市税、水道料金等の減免及び納付猶予について拡大の考えはあるか。</p> <p>③ プレミアム商品券等の継続的な販売の考えはあるか。</p> <p>④他の商品券と比べて、プレミアム商品券の効果と販売方法、利便性について伺う。</p> <p>⑤雇用と事業の維持継続に関わる現状認識と対策について伺う。</p>	
5	3	児 玉 幸 久 (一 括)	1. 市政についての 情報発信について	<p>市民の声をしっかりと市政に反映させ、市民により身近な市政運営となっていくためには、市政についての情報発信の充実が極めて重要である。</p> <p>(1) 市行政のトップである市長は、市政についての考え、施策や事業等について、市民に対して分かりやすく情報発信をしていく必要がある。市長の情報発信の手法の一つとして定例記者会見があるが、昨年度の雲南市長の定例記者会見は4回と非常に少ないと考えるが。</p> <p>① 原市長は、定例記者会見を、どのようなタイミングで、どの程度の頻度で開催することを考えているのかを伺う。</p> <p>② 動画での配信、ケーブルテレビでの放映もしてはどうかと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、市政懇談会の開催を中止してケーブルテレビを活用した市政番組の放映とされたことは、多くの市民に市の取組みの方向性を伝えることが出来たと考える。来年度以降も、懇談会の開催に並行してケーブルテレビでの放映を行ってはどうかと考えるが、見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 新型コロナウイルス感染拡大対策及び建設業への影響について</p> <p>3. インターネット</p>	<p>(3) 市が進めているプロジェクトについての情報が、市民、特に若い世代にきちんと伝わっていない現状がある。</p> <p>① 市の情報発信・提供の時期、内容、手法等における問題点・課題は何か。</p> <p>② 今後の改善の方向について、現在、市としてどう考えているのか。</p> <p>(1) 全国的に終息の目途がつかない新型コロナウイルスの感染。感染拡大を防止するため、無症状病原体保持者を含めた大規模な迅速検査の必要性についてメディア等でも報じられている。最近では、従来よりも、より簡単に早く、安価な方法のPCR検査のサービスを行っているところもあり、また、交付金も活用できると聞いているが、市における今後のPCR検査の実施について伺う。</p> <p>① 市立病院職員も含めた市職員、市議会議員等の定期的な検査の実施はどうか。</p> <p>② 3月、4月の卒入学・卒入園時における関係者に対する検査の実施は考えているか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスの感染拡大により、市内においても商工業をはじめ各産業分野において影響を受けていると考えられる。観光、飲食業等においては、国のGO TOキャンペーンや島根県、市独自の対策等も実施されてきているが、建設業における対策はどのような取り組みがなされているのか。市内で行われている建設工事の休止、発注時期の遅れによる工期の遅延の有無、感染拡大が終息しない場合の来年度の事業への影響とその対策について市の考えを伺う。</p> <p>本年の春より、都市部では第五世代移動通信システム（通称5G）の</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			環境について	<p>サービスが開始され、高速・大容量の通信環境の構築により、様々な産業での改革が進むと期待されているが、本市におけるサービスの開始は当分先だと認識している。5Gとは言わないまでも、高速・大容量通信次代に対応したインターネット環境の構築についての市の見解を伺う。</p> <p>(1) 通信事業者の高速光回線のエリアが狭い、雲南夢ネットのインターネットサービスの伝送速度が遅いという意見を多く聞く。実際、雲南夢ネットの伝送速度は下り最大速度がベストプランでも30Mbpsであり、動画を快適に見る、リモートワークやオンライン会議をストレスなく利用できる伝送速度である100Mbpsを大きく下回っている。多くの市民が利用している雲南夢ネットの伝送路整備(FTTH化)が計画されていると伺っているが、インターネットサービスについて、今後の伝送速度の高速化についての考えを伺う。</p> <p>(2) インターネット通信環境の整備を考える場合、その恩恵を受ける人が多い市街地・連坦地から取り組んでいくということが予想されるが、逆に山間部の集落の地理的なハンディをインターネット環境の整備により克服して活性化を図っていくという考え方もある。山間部集落へのI・Uターンを促進、地域コミュニティの維持等の政策的な観点から、山間部集落での整備が遅れることがないよう、優先して取り組んで欲しいと考えるが、市の見解を伺う。</p>	
6	10	中 林 孝 (一問一答)	1. 所信表明について	<p>(1) 本市の抱える最大の課題は何と捉えるか、それに対し具体的にどう対処していく考えか。</p> <p>(2) 所信表明で「パパやママの思い」という視点で若者や子育て世代の定着や市外からの流入も目指されている。具体的にどのように</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>進める考えか伺う。</p> <p>(3) 立候補に際し、前市政を基本的に継承されると伺ったが何を継承し何を継承しないかを伺う。</p> <p>(4) 大型プロジェクトにおいて費用対効果の観点で事業を精査するとされている事業はどのようなものを念頭とされているか伺う。継承しないと判断された事業や精査対象の事業は今後どうする考えか伺う。</p> <p>(5) 島根県知事は丸山知事以前が溝口知事、その前が澄田知事であった。</p> <p>① 溝口知事は三江線廃止の際、「地域の問題」と切り捨て、三江線存続に消極的だった。非常に残念な思いをしたが、今後、木次線対策を進める際、溝口知事の影響はあるか。</p> <p>② コロナ禍で交通事業者は窮境状況にあり J R 西日本も例外ではない。今後、J R 西日本は木次線に対して厳しい態度で臨んでくると思われる。木次線の存続はもとより活性化に向け市長の決意と対策、その具体策を伺う。</p> <p>③ トロッキョ列車の後継車両について交渉状況を伺う。丸山知事は木次線対策を積極的に進める考えと承知しているが、県とどのような連携をとっていく考えか。</p> <p>④ 澄田知事は県土の均衡ある発展に尽力されたが、財政的観点からは十分とは言えない面があった。反面、溝口知事は財政の健全化に尽力され、財政に対する考え方では両極端な面があった。市長としてどう評価し、今後の市政に活かしていく考えか。</p> <p>(6) 令和3年度当初予算編成方針について基本的な考え方を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>① 所信表明によると近年では総額が低水準に抑えられる見込みだ。市内経済はもとより市民生活に影響が出ないか。例えば、学校設備では使われなくなったプールの撤去とか、トイレ設備が古く衛生上の問題点や不満の声も聞いているが、どう対処していく考えか。また、コロナ禍対策などへの配慮は十分か。</p> <p>② 財政規律は保たなければならないが、市民生活の向上、市政発展のためには必要な財政支出もある。財政バランスについて基本的な考え方を伺う。</p> <p>③ 身の丈に合った財政運営は理解できるが、一方、縮小均衡ばかりでは負のスパイラルを起こすリスクもある。回避するための積極財政も時には必要と考えるが所見を伺う。</p> <p>(7) 本市は、県内他市と違い6か町村が対等合併してできた新市である。それゆえ、多くの公共施設を抱え、また、過去には均衡ある発展のために我慢を強いられてきた地域もある。今後、どのような考え方で臨まれるか。</p>	
7	6	梶谷佳平 (一問一答)	<p>1. 令和2年度雲南市の除雪計画について</p> <p>2. 雲南市所有の施設について</p>	<p>(1) 令和2年度、雲南市内6町の除雪計画(市道・連坦地)はどうなっているのか伺う。</p> <p>(2) 各町の除雪ボランティア団体と人員・役割はどのような状況か伺う。</p> <p>(1) 現在、雲南市所有施設で民間企業・市民等に貸出している施設の状況について伺う。また、その施設の情報(床面積・何階建て・構造・築年数・建設費用・所在地)について伺う。</p> <p>(2) 現在、雲南市所有施設で休眠状態の施設の状況について伺う。また、その施設の情報(床面積・何階建て・構造・築年数・建設費</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				用・所在地) について伺う。 (3) 休眠施設の年間の維持管理費がどの程度あるのか伺う。 (4) 休眠施設を今後、貸出す計画はあるのか伺う。	
8	5	鶴原能也 (一問一答)	1. 食の幸発信推進 事業について	(1) 事業地の選定について 集客目標(年間30万人)達成の可能性から判断するとインターチェンジに近い三刀屋町が適していると思われるが、加茂町南加茂(道の駅さくらの里きすき北側)を事業地として選定された理由を問う。 (2) 市民への事業説明について ① この事業について、これまで市民への事業説明をどのように実施されたのか、また今後の事業説明等の予定について伺う。 ② 現在市民からこの事業に対する要望、意見等についてどの程度把握されているのか伺う。 (3) 産直野菜生産農家に対する意向調査の実施について 事業を進める上で、産直野菜生産農家に対する今後の生産、出荷見込み等についての調査は必要不可欠と考えるが実施されたのか問う。 (4) 事務手数料について 雲南省の産直野菜生産農家に対する手数料と市外農家の手数料についての考え方を伺う。 (5) イチゴ栽培について 専門家から、冬の雲南省は日照量の確保が難しく、イチゴ栽培には不向きと聞いたが栽培技術について考え方を伺う。 (6) 運営予定者であるJA関係者にもこの事業の実現性について疑問視する声を多く聞く。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(1) から (5) までの議論と J A 関係者の声などを踏まえ、市長のこの事業に対する考え方を伺う。	
9	7	宇 都 宮 晃 (一 括)	1. 防災について 2. 環境について 3. 理科教育について	(1) 巨大災害が全国で発生した場合、国の「応援・支援が来る国土強靱化計画」とは別に「応援・支援が来ない場合の国土強靱化計画」として「地域だけで生き抜く計画」を提言する。 ① 巨大災害時の食料について ② 車での燃料備蓄 ③ 巨大災害時のキャッシュレス化への懸念 上記①～③の視点を踏まえての見解を問う。 (1) 危機管理とは、自然が我々にとって重大な局面を前にした時、「どちらを取るのかの二者択一」ではなく、「最大の危機側に大きく足を踏み込んだ対策」を取らなくてはならない。人類の危機の可能性のある「気候変動」を重点施策とする必要がある。見解を問う。 (2) 感染症の一つである新型コロナウイルスへの対応は、特に初期段階において危機意識が少なく対応の甘さを感じた。緊急事態では先手先手を打つべきだ。一日も早い事態の收拾が望まれる。今後の対応についての見解を問う。 少子化の中で、小中学校の理科教育はどのようになされているのかの現状と将来を見据えた展望について問う。	
10	14	白 築 俊 幸 (一 問 一 答)	1. 鳥獣害対策について	(1) クマ対策について ① 先日、掛合町多根地域で、クマが徘徊しているとの注意情報が発せられたが、具体的には、どのような対応がなされたのか。 ② 捕獲されたクマは、基本は放獣だが殺処分可能な場合もあると聞く。市内の状況を伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 森林資源の活用 について</p> <p>3. 除雪について</p>	<p>(2) イノシシ対策について</p> <p>① 個体数を減らす方策としては、まずは捕獲することであるが、これをより加速するためには、猟期内であっても捕獲奨励金を出してはどうか。</p> <p>② 箱ワナを貸し出しできるような仕組みを作ってはどうか。</p> <p>③ 留め刺しするためにも、野で狩猟で捕獲するためにも、ハンターの確保が必要である。銃所持の許可は厳しくなっていると聞かすが、各種費用への補助体制は十分か。</p> <p>④ 個体数を減らしてもゼロにならない限り、田んぼ際での電気牧柵やトタン張り、金網メッシュの設置等が必要となる。これらの補助金は、今年も増額補正されたようであるが、補正が可決されるまでの1～2か月を指を咥えて荒らされるのを見ている訳にはいかない。事前着工が認められない以上、結局、補助金の対応にならず自前でやってしまうケースもあるのではないか。</p> <p>(1) 今年の市内の木質チップボイラーの使用木材量はどうか。コロナの影響は現れているか。</p> <p>(2) 薪ストーブを導入したいと相談を受けた。森林バイオマス推進事業補助金の中に、薪ストーブ等導入事業があるが、補助対象経費の1/3以内、上限5万円であり、当然、屋根や壁をくりぬいて煙突を設置しなければならないが、呼び水としては低すぎるのではないか。</p> <p>(3) 今年交付された5,700万円余の森林環境譲与税の執行状況について伺う。</p> <p>(1) 市の除雪対象は公道であり、私道である木戸道は対象となって</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>いないが、全てを個人責任と言わず、長すぎる木戸道、あるいは独居高齢者世帯等について、何らかの対応方法は考えられないか。</p> <p>(2) 自主組織へは除雪機が配備され、また除雪ボランティアが運営されているが、これらの運用状況を伺う。</p> <p>(3) 個人の除雪機購入に対する補助について見解を伺う。</p>	
11	8	上代和美 (一問一答)	<p>1. 市長の政治姿勢を問う</p> <p>2. コロナ対策について</p>	<p>(1) コロナ感染拡大のなか、市民の命とくらしを守るために具体的にどうするのか。市長の決意を伺う。</p> <p>(2) 中山間地を多く抱える本市にとって、農林畜産業を産業の基盤にしっかりすえることが重要である。コロナ危機を通じて、農産物の輸入自由化の拡大ではなく、自給率の向上、家族農業を含めた農業経営への支援など持続可能な農林畜産業が求められるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 原発 30 km圏内に位置する本市にとって原発問題も大きな問題である。私たちが行った市民アンケートでは、「原発は必要」が 12%、「原発はなくすべき」が 62%であった。島根原発 2 号機の再稼働の動きが来年度にも出てくる可能性がある。市長は原発問題にどう取り組まれるのか。見解を伺う。</p> <p>(4) 菅政権による学術会議への人事介入は、学術会議法違反だけでなく憲法が保障する「学問の自由」を脅かすものである。市長の見解を求める。</p> <p>(1) 全国的な感染の広がりの中で、島根県内においても感染者が出つつある。市長所信表明の中で、11 月からの新しい診療・検査体制について述べられた。具体的にはどういう体制か。また、感染者が出た場合どういう対応がなされるのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 国保料軽減について	<p>(2) 全国でも医療機関での院内感染や高齢者福祉施設での施設内感染が多数起こり、重症者が増えつつある。感染リスクが高く、重症化につながる医療・介護・福祉などの現場職員、患者、入所者への「社会的検査」を定期的に行って、何としても感染拡大の防止と医療崩壊を防ぐべきである。市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 年末・年始を迎え、特に飲食業・宿泊業などへの影響が心配されている。政府が支援している持続化給付金と各種支援施策の期限延長などさらなる充実が求められる。コロナ危機から市民の命とくらしを守るため、国への要望を強く求めるべきである。</p> <p>(4) 市としても、地元中小事業者の声をよく聞き、営業が継続できるようにきめ細かい支援（国保料減免手続きへの丁寧な対応、少人数会食のPRなど）、収入減少をきたしている事業者への直接助成もおこなうべきではないか。見解を伺う。</p> <p>(5) 全国一律の休校により、子どもを見守るために仕事を休んだり、やめたりして、収入が減って苦境に立たされている子育て世帯がある。休校中の給食費については返還されるが、コロナ対策として、せめて今年度の給食費は無料にすべきではないか。</p> <p>(1) コロナ危機を通じて「自己責任」押し付けの政治ではなく、支え、助け合う社会への見直しが世界でも、日本でも広がっている。高すぎる国保料問題は国庫負担を減らすなど国の責任を放棄し、「自己責任」押し付けの最たるもので、協会けんぽの約2倍となっている。保険料引き下げは当然と思うが、見解を伺う。</p> <p>(2) 子どもを産めば産むほど国保料が増える国保料の均等割は廃止すべきと思うが、見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 子育て支援について	<p>(1) インフルエンザの予防接種については、現在 65 歳以上の高齢者は 2,000 円の自己負担で受けられることになっているが、子どもについては補助制度がない。子育て世帯にとっては、特に 13 歳までは 2 回の接種を受けなければならないが、子どもが 2 人、3 人となれば、1~2 万円以上もの大きな負担にもなってくる。子どもさんをもつ家庭からは、「たいへんな負担になり、何とかならないものか」との声を伺っている。負担軽減のために支援が必要である。見解を伺う。</p> <p>(2) 選挙前におこなった私たちの市民アンケートでは、「子育て・教育で取り組んでほしいこと」の第一に「不登校・いじめ対策」、第二に「高校卒業までの医療費無料化」であった。</p> <p>市長は「パパやママの思い」を大切にすることをまちづくりの 6 つの視点の一つとしておられる。市民要望で 2 番目に多かった子育て支援として、「子ども医療費 18 歳までの無料化」で支援をすべきではないか。見解を伺う。</p>	
12	2	安 田 栄 太 (一 括)	1. 地域経済と商工業の活性化について 2. 市内のキャンプ	<p>(1) 現在のコロナ禍において消費の冷え込みがあり、地元企業にも多大な影響を及ぼしているが、以前から、市内の購買力が市外に流出している問題がある。出雲市や松江市に約 40% も流出している。地域経済の活性化には地元の企業を利用した地域内消費が欠かせないと考える。消費者の購買意欲の拡大による地域経済と商工業の活性化を図るためのプレミアム商品券は、好評であったが、その利用の 70% は大型店で、地元企業での利用は少なかった。こういった状況を踏まえて、今後、地域経済の活性化についてどのようなビジョンがあるのか伺う。</p> <p>(1) 今、キャンプなどアウトドアが流行していて、このコロナ禍に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			場等の状況について 3. 通信網の強化について	<p>おいても密を避けられるとして注目を集めている。市内の施設でも市外から沢山の利用があり、特に上久野桃源郷ではテントを張る場所が足りない状況もあるようだ。雲南市の観光資源として、今後、管理体制も含めて、整備する予定はあるのか。</p> <p>(2) 市内の公園や小学校のグラウンドに設置してある一部の遊具が、テープなどで囲ってあり、使用禁止になっている。確認できただけでも5カ所で（加茂中央公園 B&G 周辺、加茂小学校、木次小学校、木次体育館周辺、斐伊交流センターグラウンド周辺）8 基あった。なぜ使用が出来ないのか。また、今後、これらの遊具をどうするのか。</p> <p>これからの時代、生活の中に ICT の活用がどんどん進んでくると思われる。また、ワークライフバランスといった考え方もあり、ワーケーションを取り入れる企業やビジネスマンも全国には一定数いる。こういった人たちを呼び込む、あるいは、地元企業が取り入れ、雲南市の関係人口を増やしていくことで、雲南市を知ってもらう事が出来、また、移住のきっかけになる可能性も十分にあり、人口減少問題解決の糸口になると考える。仕事と観光の両方の要素が必要となるが、特に、リモートワークやテレワークが問題なく出来る通信環境の充実した場所は、ワーケーション先を選ぼうと重要なポイントになってくる。現在、市内では、電波のとどかない場所や電波が弱い場所がまだまだある。全国の中山間地域に先駆けて通信環境を整備することは、あらゆる面で、市の発展を有利に進めていく武器になると考えるが、見解を伺う。</p>	
13	9	足立 昭二	1. 政治姿勢について	(1) 市長の基本姿勢である「現場主義（現場目線）」について問う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	て 2. 木次線存続について	<p>① 市長は市長選挙の立候補にあたり「現場主義（現場目線）」を掲げ、選挙戦に向けて市内各地を回り、地域の実情を見、多くの住民からの声や意見を聞かれたと思う。県職員時代とは違う現場を目の当たりにされたと思うが、県行政と市政との共通点、異なる点があれば聞きたい。</p> <p>② 私は、ここ数年掛合町、吉田町を除く他の4町のほとんどの宅訪を行い、地域の実情を見て回り、市民のみなさんの声を聞き、意見交換も行ってきた。私も現場主義（現場目線）で市政の課題を解決することに賛同する。所信表明では「現場に出向き、現場の声に耳を傾け、地域課題を共有し、そこから、課題解決の糸口を見つけ出す」とある。難しい課題であると考えているが市長の決意を問う。</p> <p>③ 同じく所信表明では「職員一人ひとりに現場に寄り添う姿勢を持つことが行政への信頼を高めていくものと考えている」とあるが、市長が職員に求める現場主義（現場目線）とはどういうことか問う。</p> <p>(1) JR西日本は、木次線を廃止するとは言っていないが、JR三江線廃止以降、市民からは「木次線が廃止されるのでは」という不安の声を聞いている。コロナ感染拡大の影響もあり、JR西日本も大きな赤字が出ていると聞く。10月には島根県、広島県や木次線沿線自治体関係者で利用促進のイベントも実施された。雲南市政の喫緊の課題はたくさんあるが今議会では木次線存続について問う。</p> <p>① 雲南市も存続に向けた取組みがなされてきているが、存続に向けた取組みについて、併せて木次線の利用状況（過去5年間）について問う。</p> <p>② 私も木次線利用促進に向けて雲南市と共に取り組んで来ている</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 今後の経済振興 について	<p>れていないのか。</p> <p>市内経済の今後は、ウィズコロナ・アフターコロナへの対応に託されているといっても過言ではない。経済振興へのスタンスを問う。</p> <p>(1) 第3波と言われる現状におけるそれぞれの業種の経営状況を把握しているか。</p> <p>(2) 今を乗り切るカンフル剂的な支援措置は国、県、市と様々なメニューが用意されているが、同時期に同じような事業が多い。(例えばプレミアム食事券等)時期をずらした開催やプレミアム部分の統合等、効果と有効性を検討すべきでは。</p> <p>(3) 経営状況がひっ迫する事業者にとってコロナにおける融資ハードルが下がることはありがたい。しかし中期的視点に立つと、3年後からの返済は大きな負担と精神的ダメージが大きい。こうした不安を解消するためには抜本的な制度変更が必要である。国や県に対応策を求めるべきではないか。</p> <p>(4) 小規模事業者にとって、本来であれば年末景気に沸く時期となるが、多くの業種においてコロナにより先が見えない状況が続いている。その相談窓口は商工会が担っている。商工会の通常業務は事業者寄り、販路拡大や記帳支援、雇用や事業承継といった経営相談であるが、今はコロナ対応窓口業務が通常業務の上のしかかっている状態である。商工会の下支えは市内事業者への支援である。今を頑張る事業者を守り、事業承継による未来の創造こそ持続可能なまちづくりと考える。市長の見解を伺う。</p>	
16	12	中村辰真 (一問一答)	1. 市政運営に対する考え方について	(1) 市長が出馬を表明されてから11月8日の第一声及び、11月30日の臨時議会に至るまでの間、様々な場面で市政運営に対する自身	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 市内小中学校における主権者教育について</p> <p>3. 産後ケアについて</p>	<p>の考えを示されている。その中で私自身が、市長の市政運営をより理解するため、言葉や想いの解釈について伺う。</p> <p>① 市長の話の中に「現場」という単語が出てきているが、この現場とは何を指しているのか伺う。</p> <p>② 「身の丈にあった財政運営」の身の丈とは何を指すのか伺う。</p> <p>(2) 前市長の市政運営を引き継ぎながら云々との考えを示されている。</p> <p>① 食品ロス削減に対する取り組みとして、「3010」運動を提案された。直後より取り組みを開始していただいている。市長の食品ロスに対する考えと「3010」運動の継続に対する考えを伺う。</p> <p>② 市職員の待遇については、「待遇日本一」を目指して懸命な取り組みがされていたと認識している。「待遇日本一」の取り組みについて市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 先の市議会議員選挙において、未成年者の非有権者から選挙活動を受けたとの話を多く聞いている。</p> <p>① 市内小中学校における主権者教育の現状を伺う。</p> <p>② 非有権者が選挙活動に興味を持つことは素晴らしい意識であると考え。しかし選挙については、厳然とした法の下に行われるものである。一度持った政治参加の意識を大切にしながらも、法の下でできる事、できない事を明確に教えていくことが大切と考える。今後の取り組みを含めた見解を伺う。</p> <p>(1) 国において不妊治療の保険適用が示される中、今年度から市では不育症に対する補助も予算化され光明と考えている。次に取り組む課題が産後ケアである。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				① 本市の産後ケアの実態を伺う ② 産後ケアについては、奥が深くマンパワー不足を感じえない。保健師のみならず、民間の知恵と力を合わせて取り組むことで、幅広く厚みのあるケアができるのではないかと考えるが見解を伺う。	
17	15	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 市長の政治姿勢と基本的な考えについて 2. 3つのまちづくりの最大命題について	(1) 速水市政についてどう評価しているか。(成果と不十分な点) (2) 行政マンから政治家となるが、基本とする政治理念は何か。 (3) 雲南市の未来像(将来ビジョン)はどのようなものか。 (4) 特定の地域・団体・人へ偏重しないなど、公正な職務遂行が求められるが、政治倫理についての考えはどうか。 (5) 議会とどのような関係を築いていく考えか。 (1) 「人口減少への対応」について ① 基本的な対応策と考えは何か。 ② 「人口の社会増」への取り組みはどうするのか。 (2) 「地域自主組織を基盤とした、持続可能な地域づくり」について ① 地域自主組織(小規模多機能自治)に関する取り組みをどう評価し、今後どうあらねばならないと考えているか。 ② 「自助、共助、公助」についての基本的な考えはどうか。 ③ 衰退が著しい周辺部への全般的対策をどう考えているか。 (3) 「将来を見通した健全な行財政運営」について ① 健全財政堅持の要諦は何か。 ② 地方分権の現状と課題についてどう考えているか。	